

子どもの気持ち、話したいことをいつでも受け止められる指導員でありたいと思いました。

(草加市 指導員)

プログラムを見たときは、どうして記念講演なんかに90分もとってあるのだろうと思いましたが、あっという間に90分以上が過ぎていました。

(所沢市 指導員)

できたか、できなかったかではなく、頑張った思いをよく見たり聞いたりしていきたいなと思った。

(加須市 指導員)

アンケートの感想集です。

指導員として、人としてアンテナを敏感にしておかないとできない。ふと漏らした一言がその子の気持ちを代弁しているので聞き逃さないようにしたいと思う。

(狭山市 指導員)

親との関係も「できないことの共有」をすればいいんだ!! 何を難しく考えすぎていたんだろうと思いました。とても元気づけられました。

(深谷市 指導員)

記念講演

「自然・人との豊かな関係性が育む希望」

金森俊朗氏(北陸学院大学教授)



いい内容ですが、長い。日曜夕方は次の日に備えて忙しい時間。式の終わりは16時が限度ではないか。保護者と休日返上の指導員のことをもっと配慮した式の運営が必要ではないか。

(上尾市 保護者)

子どもとの関わりの大事さ、人と人とのつながりを大事に務めていきたいと思います。全国研にもつながりを大事に参加をしたいと思います。

(さいたま市 指導員)

忙しく働いている親を持つ子ども達だからこそ、学童で、自然・仲間、人との関係を快く思える子ども達を育てていけるよう努力をしたいと思います。自分も小さな幸せを日々見つけて仕事をしたいです。

(幸手市 指導員)

自分が今、子どもに何ができるか、何をしてきたか、帰ったら、ちょっと意識して接してみよう。講師ってさすがだな。共感できることがたくさんあった。

(飯能市 保護者)